

世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドへの投資について
 ～1400 百万米ドルの投資を通じ、環境・社会課題の解決に貢献～



農林中央金庫（代表理事理事長：奥和登、以下“当金庫”）は、世界銀行（正式名称：国際復興開発銀行、IBRD）が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンド（以下“本債券”）へ総額 1400 百万米ドルの投資を実施しましたのでお知らせ致します。当金庫と世界銀行のパートナーシップに基づき発行された本債券への投資は、国連が提唱する 17 の持続可能な開発目標（以下“SDGs”）、なかでも当金庫が特に重視する 4 つの SDGs の実現を支援の重要テーマとしており、投資家自身が重視する複数の SDGs 課題への取組みの重要性を世界銀行とともに世界に働きかける本邦初の取組みとなります。

当金庫は、農林水産業を支える協同組織の一員として、自らのビジネスが、農林水産業の営みによる「いのち」や自然の循環とともにあることを認識したうえで、環境・社会課題の解決を通じ、農林水産業を含む社会、そして当金庫の事業活動が持続可能なものとなるよう、SDGs の実現をはじめとするサステナブル経営を推進しています。

本債券への投資を通じ、穀物貯蔵技術の改善や持続可能な漁業・海洋資源保護プロジェクト等、SDGs を踏まえた世界銀行の取組みを資金面からサポートし、その進捗状況を継続的にフォローすることで、農林水産業との関わりから当金庫が特に重視する 4 つの SDGs（②飢餓をゼロに、⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさも守ろう）の実現に貢献することを目指します。

本投資は、SDGs の実現を通じ、温室効果ガスの排出削減を通じた気候変動対策にも貢献します。また、国際分散投資を通じた安定的な収益の確保に資するとともに、当金庫の目指すサステナブル経営の理念にも合致するものと考えております。

当金庫は、目指す姿である「農林水産業の食と地域の暮らしを支えるリーディングバンク」の実現に向けて、今後も様々な環境・社会課題の解決に貢献する投資に取り組んでまいります。

本債券の発行概要

発行体	国際復興開発銀行（長期債務格付：S&P “AAA”、Moody’s “Aaa”）
発行額	総額 1400 百万米ドル（約 1495 億円）

【本件に関するお問い合わせ先】

農林中央金庫 総務部広報企画班（大谷、後藤）TEL:03-5222-2017

(参考)

世界銀行が発行するサステナブル・ディベロップメント・ボンドについて

世界銀行は世界最大の国際開発金融機関で、現在 189 の加盟国が出資し運営しています。サステナブル・ディベロップメント・ボンドは、世界銀行が開発途上国の貧困削減および開発支援のために取り組む教育・保健・インフラ・行政・農業・環境等の幅広い分野のプロジェクトを支えるために国際資本市場で発行されます。世界銀行は 2030 年までに「極度の貧困を撲滅」し、「繁栄の共有の促進」を持続可能な形で実現することを使命としており、この 2 つの目標は、国連の「持続可能な開発目標(SDGs)」とも連携しています。